

かけ橋



九重町立淮園小学校
令和8年 7月10日
文責 校長 河村雅文

淮園小学校 HP の QR コードです。
よかったら HP もご覧ください。

季節の味「ブルーベリー」を満喫しました

7月8日(水)は、淮園小校区でベリージュファームを営んでいる梅木さんから、本校の子どもたちをブルーベリー狩りに招待していただきました。毎年この時期にご厚意で、招待してくれるので、子どもたちもとても楽しみにしている活動です。今年は6月19日(金)に実施予定でしたが、あいにくの雨で延期となりました。お楽しみが先延ばしになりましたが、この日は快晴に近い青空で、子どもたちもいい条件の下、ブルーベリー狩りを体験できました。到着後、始めの会が終わると、子どもたちはお土産用の容器をもらい、早速、食べ頃のブルーベリーがなっている場所を探して農園内を散策。色のいいブルーベリーを見つけ、いろんな種類の味を満喫していきます。去年招待していただいた時よりも時期が下がったので、その分、例年とは違う種類の実が多く、それぞれ美味しくいただきました。自然のブルーベリーを直に収穫させてもらえるというのは、他の学校ではなかなかできないことです。毎年、子どもたちを招待してくれるオーナーの梅木さんのご厚意には本当に感謝です。淮園小学校の子どもたちは、地域の方々に支えられて、改めて幸せだなと実感しました。



※当日は、大分合同新聞さんが取材にきて、子どもたちの収穫の様子や、会終了後に6年生にインタビューをしていました。新聞の九重町欄に近々記事として掲載されるようですので、よかったら確認しておいて下さい。



「淮 WAI ウィーク」の取組、ご協力ありがとうございました

6月8日～6月14日にかけて、「淮 WAI ウィーク」の取組を実施しました。家庭での仕事・手伝いや家庭学習の約束等で、保護者が子どもの頑張りを認め・励ますことを意識した取組です。各家庭で取り組んだ内容は「靴そろえをする」「パジャマをたたむ」「おふろ掃除をする」「食器洗いをする」「宿題を〇時までには終わらせる」「ピアノ練習をする」・・・等、様々でしたが、取組表を集約してみると、全校で86.8%の達成率でした。(回収率100%)1週間の取組でしたが、ご協力ありがとうございました。ぜひこの機会だけでなく、日ごろから家庭内で子どもとの約束事を決め、継続して取り組んでいくと、子どもたちも自分で決めたことを実行する力、誰かのために役立つことの楽しさ、が身についていくのではないかと思います。

【1学期淮WAIウィークの低・中・高別、全体の取組達成状況】

学 年	1・2年生	3・4年生	5・6年生	全 校
達成率	91.3%	81.3%	90.8%	86.8%

淮 WAI ウィークのように、家庭（保護者と子ども）で決めたことに継続して取り組むことで、いくつかの大事な力が身につくことが期待されます。下の表に期待される力をまとめています。

子どもの自己管理能力が育つ	自律心の育成：自分で行動をコントロールする力がつきます。 責任感の醸成：約束を破ったときの結果を学びます。
親子の信頼関係が深まる	対等な関係性：一緒に決めることで尊重されていると感じます。 不満の軽減：一方的な命令ではないため反発が減ります。 自己有用感：手伝い等で感謝の言葉を受けることで有用感を得ます。
社会性の基礎が身につく	他者への配慮：社会のルールや他人の権利を守る練習になります。 約束の重みの理解：信用を築くことの大切さを学びます。 感情のコントロール：我慢する力や妥協する力が養われます。

自己管理能力は、学校でも育てたい力の1つです。これからも学校・家庭の両輪でこういった力を育てていきたいと思います。

(裏面に続きます)

1・2 年生「生活科」 町たんけんに行ってきました。

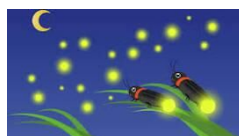
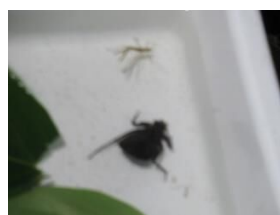
7月3日(金)の3・4校時は、1・2年生が生活科で、「町たんけん」に出かけました。目的地は校区内の宝泉寺・生竜方面です。子どもたちは、いつもとは違う校外学習ということで、中休みくらいからうれしそうな様子でした。今回おじゃまさせていただいたのは、たから温泉と佐藤酒屋さん、美容室エイコさん、かねよしさんの4ヶ所です。最初のたから温泉は、保護者の方のお家なので、ご厚意で日頃は入れない宿泊部屋や温泉まで見せていただき、子どもたちにとって、温泉や旅館のイメージがつかみやすかったようです。また、2件目の佐藤酒屋さんでは、子どもたちが足湯につからせてもらうことができ、いい気持ちで小休憩ができました。美容室エイコさんでは、お店の入口付近に育てているたくさんのお花を見せてもらいました。去年取り組んだ人權の花のプランターをまだ大事に育ててくれていて、うれしかったです。最後のかねよしさんでは、入店してから子どもたちが生け簀の魚にくぎづけで、店長の吉光さんに魚の名前を質問して興味津々で見学をしていました。それぞれの見学地で、お店や施設の方に温かく接してもらい、おかげで、子どもたちもたくさん学びがありました。見学させていただいたお店や施設のみなさん、本当にありがとうございました。



お忙しい中、子どもたちの町探検にご協力いただきありがとうございました。准園の魅力を子どもたちがたくさん見つけたようです。

4・5 年生「総合的な学習の時間」 入道川の探索活動

6月12日(金)の3・4校時は、4・5年生が総合的な学習でホタルの住む川を調べるために、学校そばの入道川に行って探索活動をしました。5月14日にもここで活動をしましたが、今回の活動が前回と違うのは、地元の左藤さんと高倉さんがゲストティーチャーとして参加してくれたことです。しかも、川に実際入れるようにライフジャケットや水の中を見るアクアスコープ・魚取りあみを全員分用意してくれました。子どもたちも水着の上に用意していただいたものを身につけて活動開始。左藤さんから網で魚を捕る「がさがさ」という方法を教えてもらったり、魚がいそうなポイントを教えてもらったりして、1時間弱の間に、水そう一杯の生き物を見つけることができました。掬った中には、珍しい生き物がいて、左藤さんにお聞きすると、オニヤンマのヤゴだったようです。他にもミズカマキリやヤマメやエビなど、たくさんの生き物が住んでいることが分かり、子どもたちも終始、夢中で活動していました。終わりの会で、左藤さんから「これだけの生き物がいるということは、この川がそれだけきれいだということ。みんなでこの川を大事にしてほしい」というメッセージをいただきました。お忙しい中、時間をつけて子どもたちの関わって下さった左藤さん・高倉さん、大変お世話になりました。子どもたちも地元の川が自慢できる川だということが実感できたと思います。



ホタルの住む川は、自然の魅力がいっぱい詰まった魅力いっぱいの川でした。